

令和 5・6 年度 教職課程自己点検・評価報告書 検証結果

本学では、大学全体の内部質保証に責任を持つ「内部質保証推進会議」の組織体制のもと、学部、研究科及び各種委員会等が P D C A サイクルに基づいた点検・評価を行い、内部質保証推進会議は、各部局・部署の取り組みを検証し、その結果が次年度の活動に反映されるよう、各部局等に対して改善措置を指示する役割を担っています。

この度、教職課程運営委員会から提出された「令和 5・6 年度 教職課程自己点検・評価報告書」をもとに、本学における教員養成の取り組みについて検証しました。

教職課程運営委員会の自己点検・評価は、一般社団法人全国私立大学教職課程協会の基準領域を踏まえたもので、同報告書は基準項目ごとに「現状説明」、「長所・特色」及び「取り組み上の課題」で構成されており、教職課程の運営を継続的に改善していくことが記述されていました。

検証結果からは、各学科の専門教育の特色を生かした教員養成を通して、教育委員会や学校等との連携、教職実践演習や学校支援ボランティアを通じた実践的指導の育成及びアクティブラーニングや学生間の協働学修など、学生の主体的学習を促進する取り組みが確認できました。一方、学科教員の認識向上及び履修カルテの検討など、改善を図らなければならない課題も見えてきました。この点について、内部質保証推進会議から教職課程運営委員会へ改善を要する事項として検討を指示しました。

これからの社会が求める有為な人材を輩出するため、教職課程運営委員会の自己点検・評価の結果によって示されたこれまでの取り組みを更に充実・発展させ、大学を挙げて教育の質の向上・改善に取り組んで参ります。

令和 7（2025）年 10 月

九州看護福祉大学
内部質保証推進会議